

放射線治療担当技師 殿  
関係各位

平成 26 年 6 月吉日

公益社団法人日本放射線技術学会中部部会  
北陸放射線治療研究会 代表世話人 上田 伸一  
企画当番 石川県

## 第 40 回北陸放射線治療研究会開催のご案内

今回の研究会のテーマは、基礎講習会です。日常の業務で行っているモニタ線量計の校正業務に関する内容を標準計測法 12 に沿って、今一度皆さんで復習してみたいと思います。講師もこれからの北陸治療研究会を引っ張っていただくと世代にお願いしています。

---

【日 時】：平成 26 年 7 月 26 日（土）午後 2 時～5 時

【場 所】：金沢大学 医薬保健学域 保健学類 4 号館 4111 号室

(<http://mhs3.mp.kanazawa-u.ac.jp/others/map.html> を参照ください)

【参加費】：日本放射線技術学会会員：100 円，日本放射線技術学会会員以外：200 円

学生（大学院社会人コースを除く）：無料

【内 容】：

1 部：標準計測法 12 の水吸収線量計測 ～基礎の理解を深めよう～ 金沢大学附属病院 小島礼慎

2 部：標準計測法 12 の水吸収線量計測 ～計測を実践しよう～ 富山大学附属病院 白崎展行

（要約）近年、IMRT など外部放射線治療技術の進歩には目を見張るものがある。このような先端的な治療法でも適正な線量評価なくして治療成績の向上には繋がらない。そこで、1 部・2 部では、標準計測法 12 に沿った水吸収線量評価の理論的内容（各種補正係数の概要や吸収線量の決定）や、モニタ線量計の校正業務を中心とした実務的内容について今一度復習することを目的とする。

3 部：やっぱり大事な MU 値の手計算 ～検証の意味について考える～

福井大学医学部附属病院 木下尚紀

（要約）現在、手計算によって算出された MU 値を用いて患者を治療する機会は減少したが、MU 値の手計算は、治療計画装置が算出した MU 値を検証する意味では大変重要な役割を果たす。近年、米国医学物理学会(AAPM)より MU 値の検証に関する TG 114 や TG 71 が発行され、本邦においても MU 値の計算について詳細に記載された「放射線治療技術の標準」が発刊された。このような動向からも MU 値の手計算の重要性が解る。本発表は AAPM TG-114, TG-71 および放射線治療技術の標準で学習する前段階として必要最低限理解しなければいけない MU 値検証の基礎事項について復習することを目的とする。

---

また、今回は「北陸放射線治療研究会の 40 回記念開催」および「ひよっこ倶楽部設立記念」として研究会終了後に懇親会を開催します。参加費は **2,000 円** で会員・非会員は問いません。参加希望者は、**お名前**、**ご施設名**、**参加の旨**を記載のうえ **7/11(金)**までに下記連絡先まであらかじめメールにてご連絡ください。多くの参加をお待ちしております。

【連絡先・問い合わせ先】：

JSRT 中部部会 北陸治療研究会 世話人：上田伸一 / 武村哲浩

E-mail : sirokuma@med.kanazawa-u.ac.jp (金沢大学附属病院 放射線部 上田 伸一)